

**needs** フリーアドレスの座席管理や会議室予約の無駄をなくし、  
社員の多様な働き方を推進したい

フリーアドレスの座席をアプリで管理し、カラ予約※の防止と業務に沿った会議室利用を促進

※カラ予約：会議室が予約されているにもかかわらず、実際には、使われていない状況のこと

**会社概要**  
会社名 : コクヨ株式会社  
事業内容 : 文房具・オフィス家具の製造・仕入れ・販売、空間デザイン・コンサルテーションなど  
従業員数 : 連結6,825名 単体2,207名 (2021年12月末現在)  
所在地 : 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号

**背景**  
・元々フリーアドレスは定着していたが、社員がどの席で働いているか把握できず、チーム内の連携に支障があった。  
・コロナ禍での在宅勤務の増加に伴い、オフィスはオフィスならではの「自然に会話を引き出すゾーン」「Web会議専用ゾーン」「議論をするゾーン」の3つに再構築したが、「WEB会議専用ゾーン」の需要が急増し、利用ルールが完全に守られず、必要な人が使えないことが多かった。

【お問い合わせ先（開発元）】  
ACALL 株式会社  
E-mail:contact@i.acall.jp

ITを活用した課題解決の内容

- ・予約システムでフリーアドレス座席や会議室の予約・チェックインができるようにし、社員の位置情報の見える化や、無駄のないスペース活用を実現
- ・今後は利用ログの蓄積で更なるスペース活用のヒントを見つける

・検討・開発期間 : 検討は約3ヶ月  
・開発者 : ACALL 株式会社  
・開発コスト : アプリ導入にあたる開発費は0円

課題

- フリーアドレス管理  
・誰がどこにいるか把握できない
- スペース利用ルールが不徹底

解決方法

座席/スペース予約システム (WorkstyleOS) の導入  
・サイネージと予約端末をオフィスに設置し、誰がどこにいるか一目で把握できるようにした  
・座席ごとに二次元コードを設置し、スマホから簡単に予約できるようにした  
・予約時間を15分経過してもチェックインがない場合、予約を自動キャンセルし、カラ予約を防止

特徴

座席状況を見える化し、フリーアドレス管理  
座席状況がわかるフロアマップのサイネージと予約用端末を設置



予約システムから簡単に予約できるようにして、利用ルールを徹底  
各座席に二次元コードを設置し、専用スマホアプリで読み取りチェックイン  
グルーピングされたエリアから予約する座席を選べるようにした



導入成果

- ・席数は在籍者の6割の数で運営を成立できており、スペースにゆとりが生まれた。
- ・社員がどこで働いているか一目で分かるようになり、フリーアドレスでの働き方やコミュニケーションを改善
- ・会議室の事前予約やカラ予約の自動キャンセルによりスペース利用ルールを徹底し、社員が目的に沿った座席利用ができるようになり、再構築したオフィスを無駄なく活用できるようになった

成功したポイント

- ・導入は大きな工事もらず、比較的簡単に導入可能であったこと
- ・従来は社内独自のデータベースでスペースを予約管理していたが、スマホで予約できるアプリの手軽さから、すぐに社内に浸透した。
- ・業務内容に沿った利用予約を社員に意識づけ、席の固定化や目的にそぐわないスペース利用を防止

今後の展開予定

- ・席やスペースの利用ログから使う人の傾向や属性を分析し、さらに働きやすいオフィスづくりやお客さまへの提案に繋げていく。
- ・まだ予約制にしていない席（ロッカーやゆるく囲われた席など）にも導入し、設備の効率的利用を目指す。